

Tohmatsu Risk Advisory Recruiting Brochure

Making an impact that matters

日本経済と企業の発展に貢献するために

有限責任監査法人トーマツ

有限責任監査法人トーマツについて

有限責任監査法人トーマツのサービス構成

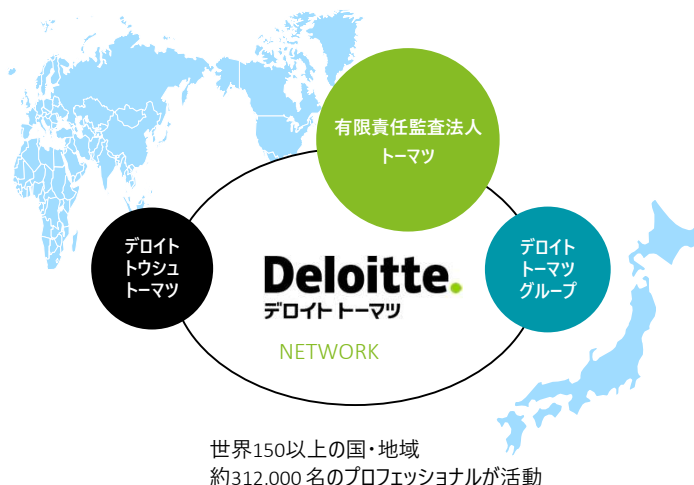


有限責任監査法人トーマツ（以下、トーマツ）は、監査・保証業務、株式公開支援、財務調査、デューデリジェンス、リスクガバナンスに関するアドバイザーサービス、内部管理体制構築支援のためのシステム監査等を提供する日本最大級の会計事務所の一つです。国内約40都市に約3,300名の公認会計士を含む約6,500名の専門家を擁し、経済社会の健全な発展のために、日本全国でさまざまな業種の多国籍企業および日本企業等にサービスを提供しています。トーマツは、監査・保証業務とリスクアドバイザー、それぞれの強みをもったプロフェッショナルがQuality firstのスローガンのもと価値あるサービスを提供しています。

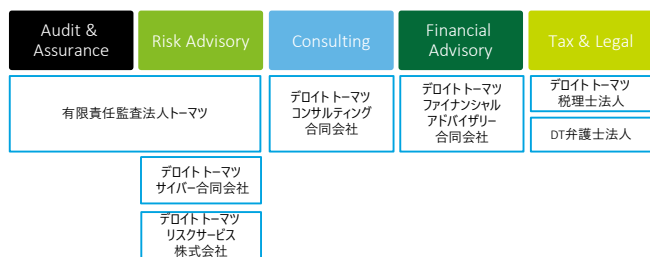
日本のアカウンティングファームの中で、私たちトーマツだけが、グローバルの組織名に日本の法人名であるトーマツが入っています。トーマツは、常に品質を重視した業務を遂行することで、グローバルに事業を展開する企業をサポートするにふさわしい監査法人であると考えています。

デロイトおよびデロイトトーマツグループについて

Deloitte（デロイト）とは英国の法令に基づく保証有限責任会社であるデロイトトウシュトーマツリミテッド（DTTL）ならびにそのネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびその関係会社のひとつまたは複数指します。全世界150を超える国・地域のメンバーファームのネットワークを通じ、ワールドクラスの品質と地域に対する深い専門知識により、グローバルとローカルの両視点から監査・保証業務、リスクアドバイザー、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー、税務、法務をクライアントに提供しています。



デロイトトーマツグループ内法人と組織構成



デロイトトーマツグループは、グローバルで共通の5つのビジネス区分から構成されています

デロイトトーマツグループは日本におけるデロイトトウシュトーマツリミテッド（DTTL）のメンバーファームおよびそのグループ法人（有限責任監査法人トーマツ、デロイトトーマツコンサルティング合同会社、デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社、デロイトトーマツ税理士法人およびDT弁護士法人およびデロイトトーマツコーポレートソリューション合同会社を含む）の総称です。デロイトトーマツグループでは、グループ内で密な連携をとり、各専門の組織や会社がクライアントのさまざまな課題解決のため、最適なプロジェクトチームを組成します。会計、リスクアドバイザー、税務、ファイナンシャルアドバイザー、コンサルティング、法務の各専門家と業種・セクター別の専門チームとがクロスビジネスで連携を取り合い、高品質なサービスを提供します。

トーマツのリスクアドバイザリー

トーマツは国内初の全国規模の監査法人です。トーマツは設立から50年の間、監査法人として日本の資本市場の信頼性を確保し、その発展に貢献するという社会的使命のもと、ステークホルダーの期待を超える高品質な監査・保証業務（Audit & Assurance）の実施を通じて、資本市場の健全な発展に寄与してきました。

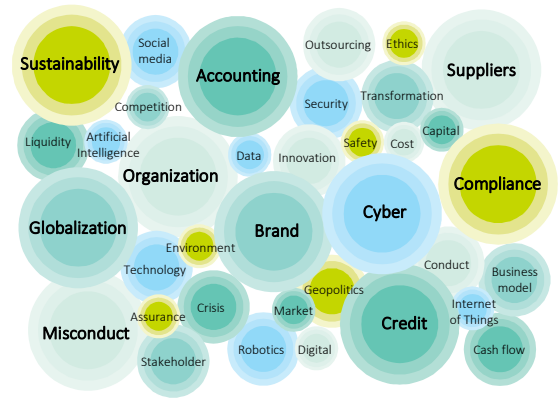
近年、企業を取り巻く環境は、日々めまぐるしく変化しています。多くのグローバル企業は、従来の仕組みやビジネスモデルに捉われられない様々な挑戦をしています。そこで、トーマツは監査業務によって培われた知見と信頼を生かした会計、リスク、テクノロジー領域のサービスにより、適正な財務報告やガバナンス向上を支え、企業の価値向上と持続的成長を支援するための様々なノウハウを、リスクアドバイザリー業務（Risk Advisory）として提供しています。

現在、リスクアドバイザリー事業本部には約2,000名のプロフェッショナルが在籍し、長きにわたり企業トップの傍らで経営の舵取りを見守ってきた監査法人の知見と専門性を駆使して、企業が抱える問題を根本的に解決するための道筋を提案しています。

成熟した社会において、リスクテイクなしで持続的な成長は望めません。従来のリスクマネジメントの考え方として、リスクの低減、移転、回避したうえで残ったリスクを受容することが一般的でしたが、企業の持続的成長のためには、テイク（受容）するリスクを設定した上で、それ以外を回避、移転、低減する必要があります。

そのために、インダストリー別の知見に基づく戦略リスクやレギュラトリーリスクのマネジメント、アナリティクスなどを活用したリスクの可視化が必要となります。特に近年においては、ITに起因したリスクの検討やITの活用によるリスクマネジメントが求められています。

トーマツのリスクアドバイザリービジネスは、「攻め」と「守り」の両面から、企業の持続的成長をサポートし、クライアントの経営の高度化に貢献します。



経営高度化に向けてCXOは様々なリスク対応が求められています

グローバルプロジェクト事例

	Accounting & Finance	Governance Risk Compliance	Technology (Deloitte Analytics)
クライアント	<ul style="list-style-type: none"> グローバルに展開する上場企業 	<ul style="list-style-type: none"> 国内外で複数の事業を営んでおり、複層構造（グループ会社・JV先・委託先を含む）の日本企業 	<ul style="list-style-type: none"> 銀行業における会計監査業務のアナリティクス活用
経営課題	<ul style="list-style-type: none"> IFRS導入を目指した決算期の統一 決算期統一後の決算早期化 IFRS導入後の管理会計の高度化 決算開示支援 	<ul style="list-style-type: none"> 株主・投資家からは適切な範囲内で最大限のリスクテイクを求められている 事業範囲の拡大と事業構造の複雑化により、グループを取り巻くリスクやその管理状況の全体が見えない状況になっている グループを揺るがす重要リスクに対して、効率的で有効性のある打ち手を講じる必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> 監査法人のクライアントである銀行は、融資先が返済できない可能性を予測し、予想される損失を引当金として計上している。 監査チームは貸倒引当金が適切に設定されていることを確認する必要があるが、財務諸表を基に返済能力を判断するため膨大な工数が掛かっている。
プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 決算早期化支援 海外子会社の決算レベル向上支援 	<ul style="list-style-type: none"> 戦略的リスクマネジメントの設計・導入 M&A、事業投資等の投資基準・審査体制構築 カントリーリスクの調査・分析 	<ul style="list-style-type: none"> 銀行の営業担当者が作成する報告メモに着目し、過去の報告メモのデータを融資先別に取り纏め、マッピング 融資先の返済能力分析を行い、自動的に問題のある融資先を抽出

リスクアドバイザリーのサービス体制

トーマツでは、クライアントから信頼される“Trusted Business Advisor”であるために、コンピテンシーとインダストリーふたつの切り口から、クライアントのニーズに最適なアドバイスをを行います。また、クライアントのニーズが高度化・国際化する中で、デロイトトーマツグループのコンサルティング、ファイナンシャルアドバイザリー、税務、法務、および世界各国のデロイトメンバーファームと連携し、グローバル基準の価値あるサービスを提供します。

リスクアドバイザリーのサービスとクロスビジネス

Competency (専門性)



Industry (業界知見)



Accounting & Finance (A&F)

アカウンティングの知見を活かして、企業内外のステークホルダーに対する適正な業績情報の発信を支援するとともに、主として投資マネジメントの視点からコーポレートファイナンスの高度化を支援します

IFRS（国際財務報告基準）導入支援
財務報告プロセス高度化支援
不正会計対応（再発防止）
経営管理高度化支援
M&A（財務DD、Valuation）
投資マネジメント高度化支援



Governance Risk Compliance (GRC)

有効に機能した内部統制のもと、適切にリスクと向き合える環境の醸成と、より良いコーポレートガバナンス体制構築に関する支援を行います

コーポレートガバナンス
リスクマネジメント
戦略リスク／事業リスク
クライシスマネジメント
事業継続計画／事業継続マネジメント
内部統制
内部監査
コンプライアンス
レポートイング（CSR・統合報告）
社会的アジェンダへの対応支援



Technology (IT)

技術と管理の両面から総合的なインシデント対策支援を提供し、同時に新たなテクノロジーを適切に駆使することで、企業の成長を加速させる支援を行います

ITガバナンス
情報システム・データ保護
スレイトマネジメント
セキュリティアナリティクス
サイバーインシデントマネジメント
ソフトウェア資産管理
システム監査（Assurance）
データアナリティクス（Deloitte Analytics）
サイバーセキュリティマネジメント



Financial Industry
金融



Public Sector
パブリックセクター



Health Care
ヘルスケア



Life Science
ライフサイエンス



Consumer Manufacturing
コンシューマー・製造



Technology, Media & Telecommunications
テクノロジー・メディア・通信



Agribusiness Promotion Office
農林水産ビジネス



Energy Business Advisory
エネルギービジネス



デロイトトーマツ
コンサルティング
合同会社



デロイトトーマツ
ファイナンシャル
アドバイザリー合同会社



デロイトトーマツ
税理士法人



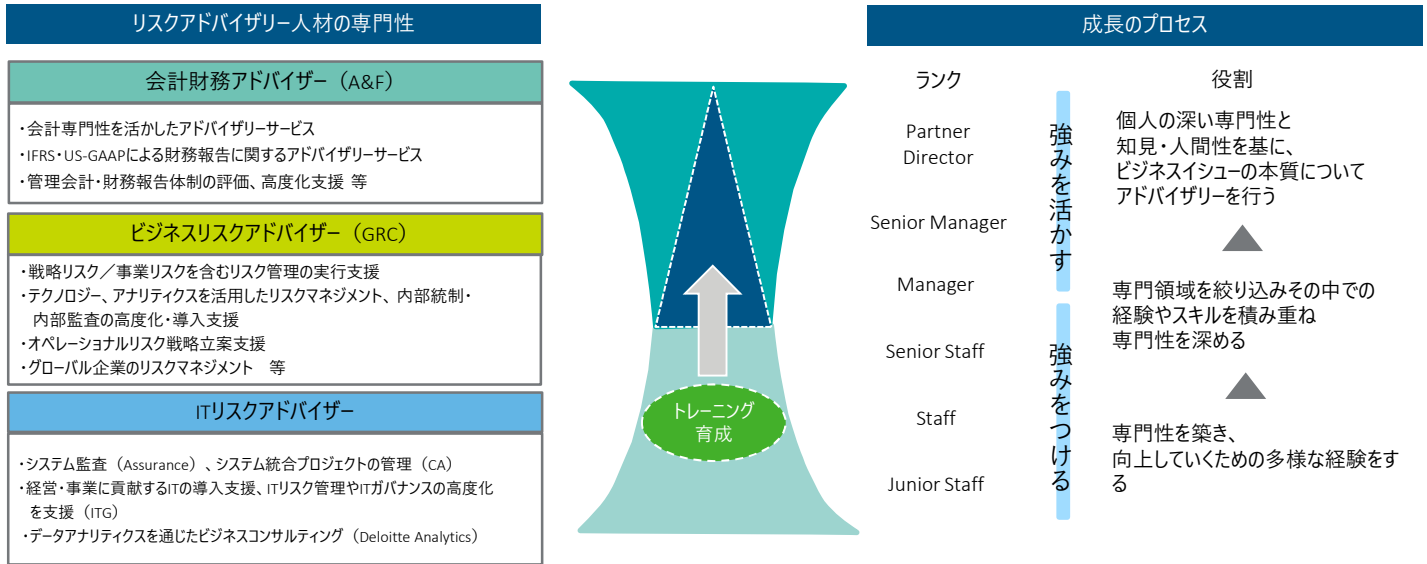
世界各国の
デロイトメンバーファーム

To be a professional

トーマツでは、Accounting & Finance (A&F) / Governance Risk Compliance (GRC) / Technology (IT) に関する専門性を持ち、企業経営者のアドバイザーとなるプロフェッショナルを育成・輩出していきたいと考えています。

具体的には、アカウンティングアドバイザー、ビジネスリスクアドバイザー、ITリスクアドバイザーという3つの人材モデルがあります。

人材モデルとキャリアパス






専門性・第三者性の高いプロフェッショナルとして体系的な専門知識を身につけるための資格取得を奨励しています。

例えば、USCPAの資格は、企業会計に関する体系的な知識と国際性を併せ持っていることを、クライアントやマーケットにわかりやすく伝えることのできる、有用な資格と考えています。また、USCPA以外にも、CIAやCISAといった、トーマツでリスクアドバイザー業務を進めるうえで有用な資格は様々あります。

「資格を取ればプロフェッショナルになれる」わけではありません。ひとりひとりが目指す専門性によって、必要なタイミングで必要な資格を取得していただきます。

なお、トーマツではTOEICの団体特別受験制度や、USCPA等の資格取得を目指す方に向けて、受験料・登録料・資格維持費用の補助をしています。

職業的専門家として有用な資格と取得に向けてのサポート

 会計知識 USCPA ■USCPA受験料の補助*1 ■USCPA登録料の補助*2 ■資格維持費用の補助*2	 専門知識 公認内部監査人 (CIA) 公認情報システム監査人 (CISA) 公認不正検査士 (CFE) 英国勅許公共財務会計士 (CPFA) 情報セキュリティ・プロフェッショナル認証 (CISS) など*2	 語学 外国語の継続的な学習 ■TOEIC IPテスト開催 ■TOEIC S&W受講補助 ■オンライン英語自己学習プログラム ■マンツーマンレッスン (選抜者)
---	--	--

*1：全科目合格後に、合格した回の受験料について入所後に補助します。領収書の提出が必要です。(領収書が無い場合は不可) 内定期間中に受験したのも事前申請により対象となります。

*2：登録料の補助、資格維持費用の補助があります(規定の条件を満たした場合。対象資格は部門によって異なります)

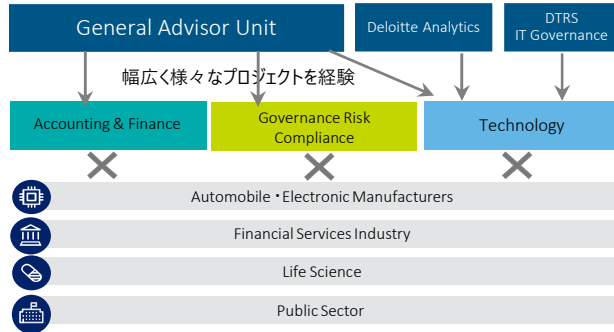
リスクアドバイザー人材を育てる仕組み

新卒で入社された皆さんが一流のリスクアドバイザー人材に成長していくための仕組みがGeneral Advisor Unit (GAU) ※です。

GAUは新卒で入社された皆さんが配属するユニットで、特定の専門性（コンピテンシー）やクライアントの業種（インダストリー）にとらわれることなく、幅広いプロジェクト経験をする事で、リスクアドバイザー人材として必要な基礎スキルを習得するとともに、各自がフォーカスしていく専門領域を見極めていくことができます。

※ITリスクアドバイザー（Assurance, Analytics, IT Governance）は、General Advisor Unitに所属せず専門ユニット所属となります。

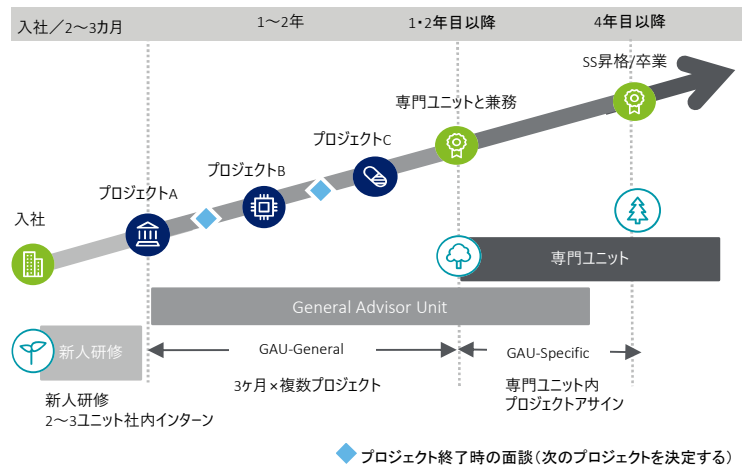
General Advisor Unitの仕組み



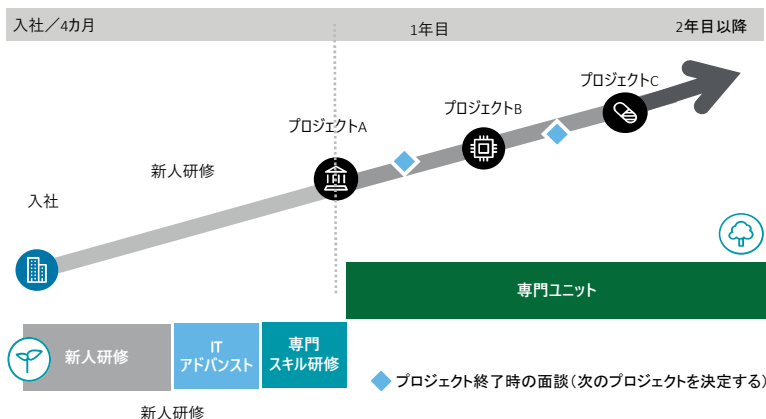
アカウントティングアドバイザー・ビジネスリスクアドバイザーは、新人研修のあと、が希望するユニットに短いアサインをして、各ユニットの業務の様子をつかんでいただけます。そのあとは、3ヶ月単位で、例えば、アカウントティングアドバイザーユニットのIFRS導入支援の案件にかかわっていただいたあと、次の3ヶ月間は、GRCのストラテジックリスクユニットでガバナンス体制の構築支援業務にアサインする、といった形で、各人のご希望を伺いながら複数のプロジェクトを経験いただけます。この期間を、GAU-Generalと呼んでいます。

そして、平均的に1～2年の期間の中で専門領域を探し出していただき、各ユニットの合意を得た上で、専門ユニットとの兼務になります。この期間をGAU-Specificと呼んでいます。GAU-Specificの間、専門ユニット内のプロジェクトで研鑽を積み、SSへ昇格する時に、一人前のアドバイザー人材として、GAUを卒業することとなります。

GAU入学から卒業までの成長プロセス



ITリスクアドバイザーの人材育成カリキュラム



ITリスクアドバイザー（Assurance, Analytics, IT Governance）※は、専門性を早い時期に身に付けいただく必要があるため、入社時から専門ユニットに配属されます。多様な研修やプロジェクト経験を積みながら、コンサルティングスキルの向上を図るとともに専門分野を尖らせていきます。その他、専門知識を高める研修を各チーム主体で実施しています。

- ▶ プロジェクト事例報告
- ▶ サービス・規制動向
- ▶ 外部研修 等

※ITリスクアドバイザーのうち、ITガバナンスについてはデロイト・トーマツリスクサービス株式会社へ入社となります。

プロフェッショナルとして活躍していくための人材育成プラン

リスクアドバイザーのプロフェッショナルとして成長していくための研修や制度が充実しています。

人事評価は、デロイト全体で用いている制度を採用しており、グローバルレベルで求められる資質・能力の共通化を心がけています。

また、中長期的な成長を見守るため、一人一人に「コーチ」とよばれる先輩がつき、業務状況の確認や今後の成長に資するアドバイスを行っています。

コンサルティング研修

- ✓ ロジカル・シンキング
- ✓ プロフェッショナルマインド
- ✓ プロジェクト・マネジメント

IT基礎スキル研修

- ✓ IT知識
- ✓ ITシステム開発基礎
- ✓ データ分析・アナリティクス
- ✓ デジタルソリューション

各種研修

- ✓ 専門スキル研修
- ✓ インダストリー研修
- ✓ e-learning

海外派遣プログラム

海外駐在・・・日系企業を戦略的に支援。4年間。原則M以上。

海外派遣・・・現地プロジェクトに従事し国際的な知見を身に着ける。3か月～2年間。
海外語学研修

RPM制度

RPM (Re-inventing Performance Management)

グローバルで取り入れている評価制度を適用。

Coachと呼ばれる中長期的なキャリア支援の担当者のもと、日々の業務をタイムリーに評価・改善をしていく制度。

Diversity & Inclusion

トーマツでは、ダイバーシティ&インクルージョンを重要経営戦略の一つとして位置付け、激変する市場環境を柔軟に乗り切り、成長し続けるための重要施策と捉えています。私たちはジェンダー、国籍・カルチャー、LGBT等の個人の多様性を歓迎し、受け入れ、互いに尊重し、社員一人ひとりが成長を実感し、活躍できる環境をゆるぎないものとするためにダイバーシティ&インクルージョンを推進しています。



ダイバーシティ&インクルージョンの6つの重要テーマ

1. 風土改革

ネットワークイベントの開催など、ダイバーシティ&インクルージョンの文化を浸透させることを目的とした取り組みを推進していきます。

2. 女性活躍推進

女性社員・職員が長期的なキャリアを描き、高い目標を持ち、働き続ける環境を制度面からはもちろん、研修やプロモーションに向けた育成計画の作成・実行など、女性の活躍を後押しする様々なサポートを用意しています。

3. 働き方改革

長時間労働は正に向けた取り組みの強化に加え、社員・職員のライフイベントやライフプランに合わせた柔軟な勤務形態を積極的に導入しています。また、有給休暇や男性育児取得の促進を行い、社員・職員のワークライフバランスの向上に向けた取り組みも各種推進しています。

4. 国籍社員・職員の活躍推進

様々な国籍の社員・職員を受け入れ、活躍できる環境を整備しています。加えて、デロイト・トーマツグループ内におけるネットワーク強化を目的に、様々なイベントを開催しています。

5. LGBTに関する取り組み

LGBTを正しく理解するための勉強会の実施、アライステッカーでの意思表示など、LGBTを受け入れる組織風土醸成に向けた様々な施策を実行しています。

6. 障がいを持つ社員・職員の活躍推進

有限責任監査法人トーマツ100%出資の特例子会社トーマツチャレンジド株式会社では、健常者と同じ職場環境で多くの障がい者スタッフが活躍しています。

監査法人初となる次世代認定マーク「くるみん」を取得
(2013年7月)



育児・介護と仕事の両立支援

■ ベビーシッター／病児保育シッター利用支援制度

育児中の職員が安心して働くことのできる環境をつくる為、提携先のシッターサービス利用時に入会金、月会費及び利用料金の補助を行っています。

■ 待機児童向け保育所入所枠の確保

保育園入園待機となり復職が困難となっている職員を対象にしたお子さんを対象に、キッズスクエア東京スクエアガーデン（京橋）にて入所枠を確保しています。また、保育料の援助も受けられます。

■ 育児支援割引券の利用

公益社団法人全国保育サービス協会が指定するベビーシッター事業者を利用した際に、1日につき2,200円の割引が受けられる割引券を配布しています。

■ 育児・介護クーポンの利用

育児・介護サービスの利用時の支払いにトーマツ健康保険組合の「カフェテリアプラン」のポイントを充当し、クーポンとして利用することができます。

■ 企業内保育園の開設

プロフェッショナルの多様な働き方の支援として、2018年4月企業内保育園が開園しました。

多様な働き方の支援

■ FWP（フレキシブルワーキングプログラム）

妊娠・育児・介護により通常の業務が困難な職員に対し、仕事と家庭のバランスを保ちながらキャリアアップを目指せるよう設けられた制度です。法定の期間を超えた休職や業務軽減など柔軟な働き方を認めています。

■ 在宅勤務

働き方改革の一環として、在宅勤務制度を主要5法人で導入しており、今後対象範囲を拡大していく予定です。

Talent of people



大切なのは会計の知識よりも、落ち込まずに突っ切れる気力

GRC/ストラテジックリスク
スタッフ層 <2016年 新卒入社>

Q.GRCストラテジックリスクの仕事内容について教えてください。

私はGRCのストラテジックリスクユニットに所属しており、主に事業戦略を実行する上でのリスクマネジメントをサポートする業務を行っています。最近では、お客様の海外子会社のガバナンス体制の構築支援を担当し、実際にその体制が構築できてからは、内部監査にも携わりました。入社してすぐは会議の議事録を取る役割などでしたが、今では内部監査の現場に同行したり、打ち合わせをリードしたりと、1年半前の自分と比べると、想像もしなかったような責任ある仕事を任せられています。

Q.トーマツを選んだ理由を教えてください。

実は卒業した高校の広報誌でトーマツの後藤順子さん※のインタビューを読んで、感銘を受けたのが入社したきっかけです。後藤さんはニューヨークのデロイトに駐在されていたのですが、私もニューヨーク州の大学に通っていたことや、高校が同じだったことで、不思議なつながりを感じたんです。それで「私もこんな女性になりたい。会計を勉強して、トーマツで働きたい」と強く思ったのが入社最大の理由です。実際に働いてみても、イメージ通り本当にフラットで、女性も多く、とても働きやすい環境です。

※後藤 順子 (Yuriko Goto)

デロイト トーマツグループ 及び 有限責任監査法人トーマツ ボード議長。デロイト トウシュ トーマツ リミテッド Financial Services Industry 日本代表、有限責任監査法人トーマツ 金融本部長、デロイト トーマツグループ 金融インダストリーリーダーを歴任。1993年から2002年までデロイト ニューヨーク事務所へ駐在。2018年6月よりデロイト トウシュ トーマツ リミテッド Governance Committee 及び Board of Directorsメンバーを務める。

Q.どんなときに仕事のやりがいを感じますか？

学生時代にリスクアドバイザー事業本部のインターシップに参加したのですが、そのときはリスクを洗い出したり、評価をしたりなど、リサーチの仕事が中心だと思っていました。

でも実際に働いてみると、何かをリサーチするというよりも、自分の頭で考えることが多く、想像以上に業務の幅が広いですね。ひとつに縛られることなく、リスクに関することであればどんなことでもできるのが、この仕事の醍醐味だと思います。

また、業務に直接関連することではありませんが、トーマツには中南米や北欧にいた方など、いろんな背景を持った人が働いています。日本の文化とは違う考え方やバックグラウンドを持つメンバーと、調和しながら仕事を進めていくことにも魅力を感じます。

一方で、私たちが発する言葉の一つ一つが経営に大きな影響を及ぼすことも少なくないので、常に緊張感があります。

たとえばガバナンス体制の調査や内部監査では、お客様の会社のプロセスを評価するのですが、評価者の言葉として強すぎる印象を与えてしまうと、お客様の気分を害しかねません。とはいえ指摘すべきことは伝えなくてはならないので、表現の仕方にはいつも頭を悩ませています。今はお客様や上司が何を求めているのか、なぜそういう発言をしているのかを、正しくキャッチできるようにになりたいと思っています。

Q.学生の方へメッセージをお願いします。

監査法人ということで、会計の知識が必要なイメージがあるかもしれませんが、10月入社同期8人のうち、会計のバックグラウンドがある人は3人だけ。会計の知識は入社してからの努力と勉強でカバーできます。それよりも大切なのは、落ち込まずに、突っ切れる気力。

私自身、仕事のレベルに追いつけなくて不安になることもありますし、意見やアイデアがあっても、それが正しいかどうかを気にして、発言できなかったりすることもまだまだあります。でも、そうした不安や気持ち乗り越えて、自分の思いをどんどん出してくれる人とぜひ働きたいですし、私も早くそんなリスクアドバイザーのプロフェッショナルになりたいです。



100か0ではなく、働き方の選択肢がいくつもある

GRC/オペレーショナルリスク
マネジャー層

Q.GRCオペレーショナルリスクの仕事内容について教えてください。

私はGRCオペレーショナルリスクユニットに所属し、不動産業界のお客様を担当しています。業務内容は大きく分けて2つあり、1つ目が個人情報やマイナンバー、情報セキュリティに関する管理体制の構築や内部監査の支援。2つ目が内部統制報告制度 (J-SOX) のサポートです。

前者は、経済産業省が公表する情報セキュリティ関連の基準や個人情報保護委員会が公表するガイドラインに従い、社内のルールを作成するところから、実践、内部監査、是正措置等の支援を行っています。また、後者では、お客様の実態に合わせて経営者評価業務をサポートしています。リスクアドバイザーは会計以外の部分で、お客様と一緒により良い方法を考えていくところが醍醐味でもあり、難しいところでもあります。

Q.トーマツを選んだ理由を教えてください。

以前は独立系のSI企業で金融機関のシステム構築やセキュリティ設計をしていました。ですから、入社前はこれまでとまったく違う業界・業務に自分に対応できるのか不安もありましたが、それ以上に幅広い業務や知識に触れられる点に魅力を感じたのが、トーマツを選んだ理由です。偶然ですが、前職の頃に簿記や財務諸表論、財政論などを勉強し、システム監査の資格も取っていたことが入社後は非常に役立っていますし、入社後は充実したトーマツの研修プログラムを活用しながら、業務に必要な知識を身につけていくことができました。

Q.子育てと仕事をどのように両立させているのか教えてください。

私には2歳になる息子がいるのですが、現在はFWP制度 (フレキシブル・ワーキング・プログラム) を利用しています。これはライフステージに応じて休職や業務量軽減、業務時間軽減などを申請できる制度で、私は業務軽減を選択して、クライアントに伺わなければならない案件を減らし、急ぎではない社内業務を増やしてもらっています。また、子どもがまだ小さく、急な病気などでお休みすることもあるので、プロジェクトを担当する際は、なるべくバックアップを受けられるような体制を組んでいただいています。

子どもが小さいうちは、仕事の第一線から外れて働く方も少なくないと思うのですが、その場合、キャリアが一時的にストップしてしまうことにもなります。私は、出産後も仕事内容は変えずに、業務量や時間で調整して、「細く長く」キャリアを構築したいと考えていたので、今の働き方は理想的ですね。トーマツでは子育てに関する制度は女性に限らず男性も利用しやすく、遠慮しなければならぬ雰囲気はまったくありませんから、安心して今の働き方を続けることができています。

Q.今後の目標を教えてください。

今、介護が必要な家族がいるのですが、今後のことを考えると公的なサポートや会社の制度も利用しながら、子育てと介護、そして仕事も続けることが理想です。

トーマツは会社としてはもちろん、上長の方も、一人一人のライフステージに合わせて成長することを期待してくれているので、業務量や内容を相談すると、チャレンジも、セーブもさせてもらえる風土があります。100か0かではなく、場合によっては60でいいという働き方ができる制度があるのは、子育てや介護を考える上で、大きな安心感につながります。

仕事に子育てに介護と、すべてをこなすのは大変ですが、同時にそれぞれが良い意味での気分転換にもなります。

トーマツにも子育てをしながら働いている女性もたくさんいますし、今は別の会社で働いているけれど、子育てや介護をしながら、トーマツで働いてみたいという女性もたくさんいらっしゃると思います。

私が実践することで、トーマツならこういう働き方ができるということを知っていただけたら嬉しいです。



お客様や周りが自然と自分を高いレベルに引き上げてくれる

Accounting & Finance / アカウンティングアドバイザー
マネージャー層

Q. アカウンティングアドバイザーの仕事内容について教えてください。

主に国際会計基準（IFRS）の導入を検討しているお客様にアドバイザーとして入り、その支援を行っています。
ビジネスがグローバル化するなかでIFRSの導入はトレンドとなっていますが、日本の会計基準から国際的な基準に揃えるには多くの課題もあり、それを解決することが仕事になります。

Q. この仕事を選んだ理由を教えてください。

私はCPA試験合格後は事業会社で経理の実務をしていました。そこで自社のIFRS導入を経験したことで、会計の専門知識を持つプロフェッショナルとして企業を外から支援できる仕事がしたいと考え、この職種を選びました。
トーマツを選んだのは、監査法人系のアドバイザーでは業界最大手であることや、IFRSの支援実績や知見も多く、自分の経験がいかせると感じたことが大きいですね。実際、アカウンティングアドバイザーに求められるのはゼロから、もしくは現在の状況を整理して、新しい業務プロセスを作っていくというものです。
ただ、それには一般的な実務の流れを把握したうえで、さらにあるべき姿を知っていないとできないため、前職の経験が非常に役に立っています。

Q. 入社前のトーマツのイメージはどのようなものでしたか？

入社前は一人一人が個々のプロフェッショナルとして独立して働いていて、どちらかというとドライな雰囲気かなと考えていたんです。
でも実際に働いてみると、上も下も分けへだてなく、さらには他の部署のメンバーとも協力しながらお客様に質の高いソリューションを提供しようという意識がとても高く、そこはイメージと違ったところでした。今はそうした人間味あふれる働き方や、結束力の高さこそがトーマツの強みのひとつだと感じています。

Q. どんなときに仕事のやりがいを感じますか？

お客様自身が見えていないニーズや課題を可視化して、何が重要で、何が重要ではないかを伝え、それに対してどのようなアプローチでゴールまで導くか。そうしたソリューションは、我々アカウンティングアドバイザーにしかできない仕事ですし、そういったところをしっかりとサポートできるのがこの仕事のやりがいだと思います。

Q. トーマツで働くことの魅力はどんなところですか？

トーマツは扱う案件の規模が大きく、社会からの期待を感じることができます。そうしたチームの一員として、お客様の課題を解決する一助となれるのは非常に大きな魅力です。
また、トーマツには各専門分野のスペシャリストがたくさん集まっているので、一緒に仕事をすれば自然と知識や刺激を得られ、自分の成長につながります。もちろん、周りのレベルやお客様の高い要求についていくだけの胆力が必要ですが、挫けずについていくことができれば、高いレベルに引き上げてもらえるのも魅力です。
一方で、この仕事には会計の専門家としての知識はもちろん、お客様のニーズや状況を踏まえて、どういった進め方が適切であるかをイメージできることが求められます。言い換えればこの仕事にとっていちばん大事なのは“人間力”だと思います。

Q. 学生の方へメッセージをお願いします。

アドバイザーは、いろいろな考えを持った人のさまざまなニーズに応える必要があります。ですから、お客様の機微を察する能力が非常に大事。たくさんの人といろんな話をし、コミュニケーション能力を磨くことを心がけてほしいですね。
最初からプロフェッショナルという人は誰もいませんが、トーマツには、自分が成長しようと思えばそれを支えてくれる人・環境・リソースが揃っています。情熱を持って取り組める人、そのための努力ができる人なら、きっとプロフェッショナルを目指せると思います。



立場に関係なく、仕事や人と真摯に向き合うのがトーマツの文化

Technology / ITガバナンス
スタッフ層 < 2017年 新卒入社 >

Q. ITガバナンスの仕事内容について教えてください。

私の主な業務内容としては、銀行、証券会社、保険会社などの金融機関のお客様に対して、金融庁の作成している安全対策基準など、特定のガイドラインに基づいてシステムの管理態勢を評価する業務や、アドバイザー業務を行っています。
その他にも私の所属するITガバナンスでは、ITプロジェクトPMO支援、ITプロジェクト第三者評価、クラウド提供サービスに対するリスク評価支援、システムリスクに係る内部監査の助言等、約100名のメンバーで多岐に渡るサービスを提供しています。

Q. ITガバナンスを選んだ理由を教えてください。

日本とアメリカの両大学に2年間ずつ通うなかで、経営とITの橋渡しができる人材になりたいと思うようになったのがきっかけです。ただ、就職活動中は、SEを経験して技術的な知見を養うか、コンサルティングファームで事業会社に対してアドバイスを行う仕事に就くかでとても迷いました。
最終的には、トーマツでのインターンシップを通じて、仕事内容に強い魅力を感じたことや、トーマツに所属する人の働き方や仕事への向き合い方、キャリアに対する考え方に共感したことが、入社決め手になりました。
特にインターンシップで印象に残っているのは、ある資料をシニアマネージャーに提出した際に「お客様のトーマツに対する高い期待に対して、このレベルであきらめていいの？」と厳しい指摘をしてくださったことですね。
当時は学生でしたから、結構へこんでしまいましたが、立場に関係なく、仕事と私に真摯に向き合ってくくださる姿を見て、褒める部分は褒めながらも、指摘すべき部分はきちんと指摘してくれる、そうしたトーマツの文化にも、自分が成長する場所として非常に惹かれました。

Q. どんなときに仕事のやりがいを感じますか？

プロジェクトやクライアントの規模を考えると、ITガバナンスでの仕事はとても影響範囲が大きいものです。
1年目は先輩スタッフやマネージャーの指示のもとに仕事をすることが主でしたが、それでも自分が作成した資料などが最終的に経営層への報告などに使われ、企業の意思決定に採用されているということを経験報告会などで目の当たりにすると、非常にやりがいを感じます。一方で、お客様の要望に応えることはもちろん、そこに付加価値をどのように提供できるかが、この仕事の難しさでもあります。

Q. 入社前の会社のイメージはどのようなものでしたか？

仕事がハードでプライベートの時間もとれないようなイメージでしたが、実際は労働時間で評価されるのではなく、いかに定められた時間内にハイパフォーマンスを出せるかという観点で評価する体制で、とても働きやすい環境だと思います。
また、入社後は新人研修や数か月区切りでのフォローアップ研修、業務に必要な資格の費用などのサポートもありますし、人事評価制度としては約2週間に一度、所属するプロジェクトの主任とのコミュニケーションや、3か月に1度のコーチ面談など、仕事に対するフィードバックをかなり頻繁に得ることもできます。
これらを通じて、自分の仕事やキャリアプランに対してアドバイスを頂けるのは、とても有意義だと思います。

Q. 今後の目標を教えてください。

日本国内だけではなく海外にも目を向け、金融業界でITに特化した助言ができる人材になりたいと考えています。
金融業界といっても銀行、証券、保険などさまざまなセクターがありますし、ITといってもIT戦略、サイバーセキュリティなど幅広い業務内容があります。
入社後1年は、日本国内の銀行や証券会社様向けに評価業務を経験しましたが、今後は語学スキルも活かして、未経験の業界や海外案件にも積極的に関与していきたいです。



**「IT・会計・グローバル」のキーワードが引っ掛かる方には
最適な仕事**

Technology / アシュアランス システム監査
マネジャー層 < 2008年 新卒入社 >

Q.アシュアランスの仕事内容について教えてください。

財務諸表監査と内部統制監査の一環で、システム監査の業務を行っています。どのお客様も、業務のニーズに合わせて、様々なかたちでITを活用しています。代表的なものだと、会計システムや販売・購買システムなどのアプリケーション・システムが挙げられますが、最近では第四次産業革命とも呼ばれるように、ビッグデータを活用したデータ分析、AI、RPA、ブロックチェーンなど何らかのIT技術を導入しているお客様もおられます。システム監査の業務は、お客様が利用しているITが意図した通りに利用されているのか、ITがどう管理されているのかを第三者的に確認する仕事です。もちろん、財務諸表監査や内部統制監査の一部で実施する業務です。で、会計やお客様の業務やリスクなど様々な観点を盛り込みながらシステム監査の業務を行っています。私は、トーマツ入社以来、様々な業界のお客様の監査を体験しました。今はTMT（テクノロジー、メディア、テレコミュニケーション）業界や商社業界のお客様を中心に業務を行っています。また、監査業務で得られた知識や経験などを生かして、ITに限らず、内部統制の導入・維持・高度化のアドバイザー業務なども実施しています。

Q.この仕事を志望した動機を教えてください

アメリカの大学に留学していたときに、先輩の話やボストンキャリアフォーラムを通じてリスクアドバイザーという仕事を知り、興味を持ったのがきっかけです。当時はアメリカではデロイトは働きたい会社のトップ10に入っていたので敷居の高さも感じていましたが、先輩や職員の方と話してみると、フレンドリー且つ知的な印象を持ちました。実際に入社してみると人種、性別、年齢、職位に関係なく、非常にフラットな環境で仕事をしていることが分かりました。私はニューヨークのデロイトで1年働いた後、日本のトーマツに入社したのですが、ユニット間でのつながりや、フラットな環境というのはトーマツにも共通していると感じます。また、デロイトというグローバルな組織の中で私たちは監査のやり方を学び、実践しています。どこの国のデロイトの方にお会いしても、共通言語を持って監査の話が通じます。実際に、海外出張や日本で海外のデロイトの人とお会いして、同じ意識で話ができるのはうれしい発見でした。

Q.トーマツに入社して、成長できたと感じている点を教えてください

グローバルという点では、アメリカへの留学経験やそのときに身につけた英語力も手伝ってか、世界展開しているお客様を担当する機会が多くあります。タレントセレクトと呼ばれる海外派遣制度でアメリカのデロイトに2年間勤務する機会も得られました。また、通常業務の中で、経営者や経営層の方とディスカッションすることもあるため、経営目線での物事の考え方を学ぶ機会も得られています。ITや会計、様々なビジネスの理解はもちろん、人間力という意味でも日々、成長できていると感じます。チャレンジングな環境が与えられる時こそ、自分のスキルの幅を広げ、成長できるチャンスだと思って、楽しみながら業務に取り組んでいます。

Q.この業界を目指す学生の方へメッセージをお願いします。

学生の皆さんの中には、コンサルティング業界で自分のプロフェッショナルスキルに磨きをかけたい、チャレンジしたいという方も多い方と思いますが、その中でも、自分のコアスキルとなる領域を定められるか不安を持たれる方も多いのではないのでしょうか。その点、グローバル展開する監査法人系のアドバイザー組織に属する我々の強みは、「IT・会計・グローバル」というプロフェッショナルとしてのコアスキルを習得できることにあります。自身のキャリアがスタートする訳ですから最初に入社する会社は、今後のキャリアアップや自己成長のために非常に大事です。入社前にIT、会計、英語の知識に不安を感じる人もいかもしれませんが、トーマツには、専門家と業界の知見が揃っているだけでなく、充実した研修やOJTがありますので、知識は入社してからでも十分に積んでいくことができます。前述の通り、社内はフラットな環境なので役職に関係なくアドバイスをもらえますし、そこから学べることも多いです。この業界は「IT・会計・グローバル」をキーワードに、チャレンジが好きな方、チャレンジングな環境を楽しめる方には最適な業務だと思っています。



データ分析と課題をつなぐ架け橋になりたい

Technology / デロイトアナリティクス
スタッフ層 < 2016年 新卒入社 >

Q. デロイトアナリティクスの仕事内容について教えてください。

デロイトアナリティクスは監査業務向けのAudit Analyticsと、企業向けにデータ活用を支援するためのBusiness Analytics、技術を研究開発しデータ活用支援への適用可能性を探るR&Dの3つに大きく分かれており、私はAudit Analyticsを担当しています。基本的には監査チームと一緒にサービスを提供していくのですが、私は小売や航空運輸など幅広く担当しています。従来の監査は、どちらかというと過去に不正等がないかをチェックする事後発見的な性質を持っていますが、Audit Analyticsを活用して様々なデータと組み合わせることで、今後、起きる可能性のある不正の識別や、不正が起きそうな箇所を予測して、予防策を助言・提案することができるようになります。さらには、Audit Analyticsによって経営管理に活かせる情報を共有することも多くあります。「アナリティクスがあるからトーマツに監査を任せたい」という声も頂いており、裾野の広がりを感じると同時に、会計士からもお客様からも期待が高くなってきているのを感じています。

Q.トーマツ選んだ理由を教えてください。

私は大学院で経営工学を学び、研究で産学連携にも携わってきたことから、会社の課題をヒアリングして、データで分析・解決していくことに大変興味を持っていました。そこでデータ分析とアドバイザーやコンサルティングの要素がある仕事を探すなか、いち早く監査領域のアナリティクスに着手していたトーマツに興味を持ちました。当時はそうした領域を手がけている組織はほとんどなく、発展途上の段階にある分野に貢献したいという気持ちもあり、新卒で入社しました。

Q.トーマツで働くことの魅力はどんなところですか？

最初は主に作業員として実際に手を動かしながら学んでいく立場から、入社4年目となった現在では責任ある仕事を自ら推進していくようになり、非常にやりがいを感じています。入社前は会計士が多いイメージを持っていましたが、デロイトアナリティクスのユニットでは会計士はむしろ少数派であり、互いの知識やスキルを補完しあいながら一緒に価値を提供していくという文化が根付いています。また、世界各国のデロイトのプロフェッショナルが一堂に会した場で、日本のAudit Analyticsで行った分析を紹介し、その仕組みやアプローチ方法を英語でプレゼンテーションする機会もありました。そういう場に立つことで成長することができたと思います。自分はグローバルで見ても価値がある仕事をやっているのだと実感できる機会にもなりました。こうした機会を得られるのも、デロイトならではの魅力だと思います。

Q.今後の目標を教えてください。

お客様にしっかりとした価値を提供するためには、データ分析、ビジネス知見、それらをわかった上でのアドバイザー能力の三軸が必要なので、それぞれのスペシャリストの方々から多くのことを吸収し、3つすべてをしっかりとできるようになりたいです。その上で、課題がなければ分析は成立しないので、点と点をつなぐように、技術と課題との架け橋となっていけたらと思います。データ分析をソリューションとするところが強みではありますが、それはあくまでツールだと思います。お客様の課題を解決するアドバイザーとして、デロイトアナリティクスのサービスを多くのお客様に展開していきたいと考えています。

Q.この業界を目指す学生の方へメッセージをお願いします。

デロイトアナリティクスの仕事は、データ分析、ビジネス知見、アドバイザーという3つのスキルが1つでも欠けていると成り立ちません。とはいえ、最初から全部できる人はほとんどいないと思います。でも、だからこそお互いにわからないポイントをわかりあうことができ、手厚い初年度研修やフォローアップの場を通じて、一緒に高めあって成長していけるのだと思います。有志での勉強会なども頻繁にあり、継続して自己研鑽をしていくことはどうしても必要ですが、わからないことを楽しみながら吸収していく姿勢があれば、きっと大きく成長できると思います。

CFN Online Spring2021募集要項

採用対象	<ul style="list-style-type: none"> ・フルタイム選考： <ul style="list-style-type: none"> 9か月以上の海外留学経験（留学中含む）があり、21年10月、22年4月、22年10月に入社する方 ・インターンシップ選考： ※募集職種（2）-②のみ <ul style="list-style-type: none"> 海外の大学または大学院に正規留学している方で、当社の採用選考に応募意志があり、22年10月以降に卒業 23年4月、23年10月に入社する方
採用学科	全学部全学科。 入社にあたり会計資格等は必要ありません。
募集職種	<p>グローバル企業が直面する経営課題を解決するために、アカウントingファームとしての強みである、会計／財務／リスク管理の専門家としての知見を活かしたアドバイザー業務を提供し、クライアントの企業価値の維持・向上に貢献します。</p> <p>(1) リスクアドバイザーコンサルタント (RA-GAU)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 会計財務アドバイザー <ul style="list-style-type: none"> ・会計専門性を活かしたアドバイザーサービス ・IFRS、US-GAAPによる財務報告に関するアドバイザーサービス ・管理会計・財務報告体制の評価、高度化支援 等 ② ビジネスリスクアドバイザー <ul style="list-style-type: none"> ・戦略リスク／事業リスクを含むリスク管理の実行支援 ・テクノロジー、アナリティクスを活用したリスクマネジメント、内部統制・内部監査の高度化・導入支援 ・企業のパフォーマンスを強化するためのオペレーショナルリスク戦略立案支援 ・グローバル企業のリスクマネジメント、危機管理体制の評価、構築支援 等 ③ 公的機関向けリスクアドバイザー <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックセクターへの政策提言、官民連携ビジネス開発を含む公共アドバイザー ④ 金融機関向けリスクアドバイザー <ul style="list-style-type: none"> ・メガバンク、大手証券、大手保険会社のグローバル化に伴う経営課題に対応するアドバイザー <p>(2) ITリスクアドバイザーコンサルタント</p> <ul style="list-style-type: none"> ① システム監査・システムリスクコンサルタント (CA) <ul style="list-style-type: none"> ・会計監査の一環として行うシステム監査、ITガバナンス体制構築アドバイザー、システム統合プロジェクトの管理 等 ② ITガバナンスコンサルタント (ITG) <ul style="list-style-type: none"> ・経営・事業に貢献するITの導入支援、ITリスク管理やITガバナンスの高度化を支援 等 ③ データ分析コンサルタント・データサイエンティスト (Deloitte Analytics) <ul style="list-style-type: none"> ・データアナリティクスを通じたビジネスコンサルティング、監査業務の高度化・効率化、先端技術サービス開発
勤務地	東京（ただし、プロジェクトにより国内各地・海外勤務の可能性あり） (2) -②ITガバナンスコンサルタントは、デロイトトーマツリスクサービス株式会社へ入社となります。
給与	標準年額 4,792,700円 ※固定時間外手当（月25時間分）を含みます。月25時間を超えて発生した時間外勤務、深夜勤務、休日勤務の割増賃金は別途支給いたします。
賞与	年3回（6月、9月および12月）
勤務時間	9:30～17:30
休日休暇	土曜、日曜、祝祭日、年末年始休暇、年次有給休暇、受験有給休暇、産前産後休暇、育児休暇、介護休暇、夏期休暇、トーマツ休日など
選考に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・面接はすべてオンライン（Zoom）で行います。 ・ITリスクアドバイザーコンサルタントは職種別の選考となります。 ・(1) -③公的機関向けリスクアドバイザー、(1) -④金融機関向けリスクアドバイザーは、後日オンラインで追加面接を実施する場合があります。 ・(1) ①～④の入社配属部門は、すべてGeneral Advisory Unit (RA-GAU) となります。
インターン選考について	当社が指定する期間のうち5日間の選考プログラムに参加可能な方。（日程候補の中から選択）給与はありません。 2021年はオンラインで実施となります。
応募要件	<ul style="list-style-type: none"> ・フルタイム選考： 9か月以上の海外留学経験（留学中含む）のある方。要件に満たない場合は、当社採用HPより国内本選考にご応募ください。 ・インターン選考： 海外の大学または大学院に正規留学している方。企業等に在籍中の方は不可。日本で就労する資格を有する方（7時間×5日または4日）。 ・日本語・英語の双方がビジネスレベル以上。 ・海外採用、国内採用を問わず、1年以内に当社の選考を受けた方は応募できません。 ・デロイトトーマツグループ内の併願エントリーは可能です。

法人概要

主たる事務所所在地	東京都千代田区丸の内三丁目2番3号 丸の内二重橋ビルディング
代表者名	包括代表 國井泰成
設立	1968年5月
事業所	東京事務所以外の事務所：国内17カ所、連絡事務所：国内11カ所、海外駐在員派遣：約50都市
従業員数	6,912名（2020年5月末日現在）
監査関与会社	3,296社（2020年5月末日現在）
関連会社	デロイトトーマツコンサルティング合同会社、デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社、デロイトトーマツ税理士法人 他

Deloitte. トーマツ.

デロイト トーマツ

デロイト トーマツグループは、日本におけるデロイト アジア パシフィック リミテッドおよびデロイトネットワークのメンバーであるデロイト トーマツ合同会社ならびにそのグループ法人（有限責任監査法人トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー 合同会社、デロイト トーマツ 税理士法人、DT 弁護士法人およびデロイト トーマツ コーポレート ソリューション 合同会社を含む）の総称です。デロイト トーマツグループは、日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査・保証業務、リスクアドバイザー、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー、税務、法務等を提供しています。また、国内約30都市以上に1万名を超える専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループWebサイト（www.deloitte.com/jp）をご覧ください。

Deloitte（デロイト）とは、デロイト トウシュートーマツ リミテッド（“DTTL”）、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびそれらの関係法人のひとつまたは複数を含みます。DTTL（または“Deloitte Global”）ならびに各メンバーファームおよびそれらの関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。DTTLはクライアントへのサービス提供を行いません。詳細は www.deloitte.com/jp/about をご覧ください。

デロイト アジア パシフィック リミテッドはDTTLのメンバーファームであり、保証有限責任会社です。デロイト アジア パシフィック リミテッドのメンバーおよびそれらの関係法人は、それぞれ法的に独立した別個の組織体であり、アジア パシフィックにおける100を超える都市（オークランド、バンコク、北京、ハノイ、香港、ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、メルボルン、大阪、ソウル、上海、シンガポール、シドニー、台北、東京を含む）にてサービスを提供しています。

Deloitte（デロイト）は、監査・保証業務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー、リスクアドバイザー、税務およびこれらに関連するプロフェッショナルサービスの分野で世界最大級の規模を有し、150を超える国・地域にわたるメンバーファームや関係法人のグローバルネットワーク（総称して“デロイトネットワーク”）を通じFortune Global 500®の8割の企業に対してサービスを提供しています。“Making an impact that matters”を自らの使命とするデロイトの約312,000名の専門家については、（www.deloitte.com）をご覧ください。

本資料は皆様への情報提供として一般的な情報を掲載するのみであり、その性質上、特定の個人や事業体に具体的に適用される個別の事情に対応するものではありません。また、本資料の作成または発行後に、関連する制度その他の適用の前提となる状況について、変動を生じる可能性もあります。個別の事案に適用するためには、当該時点で有効とされる内容により結論等を異にする可能性があることをご留意いただき、本資料の記載のみに依拠して意思決定・行動をされることなく、適用に関する具体的な事案をもとに適切な専門家にご相談ください。

Member of
Deloitte Touche Tohmatsu Limited

© 2021. For information, contact Deloitte Tohmatsu Group.



IS 669126 / ISO 27001